

中央公民館だより

中央公民館

第37号の1 “紡ぐ”

TEL(0838)25-3590

Mail: shougai@city.hagi.lg.jp

令和6年2月1日

～心・想・縁、そして未来を～

「二十歳のつどいを振り返って」

この度、萩市「二十歳のつどい」実行委員長を務めました、山口県立萩商工高等学校総合ビジネス科三年、濱村安里です。私は、ボランティア募集を見た際、二十歳を迎えられる方にとって素敵な思い出になる式にしたいという思いと、他校の生徒や地域の方と交流を深めたいという思いから、このボランティア活動に参加しました。

第一回実行委員会で集まった高校生は5人でした。昨年よりはるかに少なく時間も限られていたため、当日までこの人数で企画していくことが、とても不安でした。そのため、自分たちで友人に声をかけ、人を集めることから始めました。

実行委員は、アトラクション係、会場係、プレゼント係の三つに分かれており、私は会場係としてフォトブース作成に取りかかりました。着物や袴、スーツなどが映える背景の色を考え、素材は何を使ってどこで仕入れるかなどを話し合いました。他校の生徒や大人とコミュニケーションをとりながらアイデアを一つにまとめることは大変でしたが、その分個性的なアイデアがたくさん上がったため、みんなで協力し合い、華やかなフォトブースを作成することができました。



(フォトブース背景作成)



(1月2日のフォトブース)



(1月2日のフォトブース)

当日は、貴重な体験をたくさんさせていただきました。来賓の接待や式典中にステージ上に立つことなど、実行委員長になったからこそ経験できた素敵な思い出となりました。教育長との三本締めの様子は、ケーブルテレビで放送されていたようで、登下校中に地域の方に声をかけていただくことが増えました。恥ずかしい気持ちよりもうれしい気持ちの方が圧倒的に大きかったです。

私はこの度の経験を通して、たくさんの人と関わるとともに新しい知識も増えました。今年度で高校を卒業するため来年度はこのボランティアに参加することが難しいですが、引き続き萩で暮らすため、今後は別の形で萩市の取組に精一杯貢献していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

未来を切り拓くひとづくりセミナー (石川佳純 講演会)

1月19日(金)に 元卓球日本代表の石川佳純さんを萩にお招きし、「私の卓球人生を支えたもの」という演題で、ご講演いただきました。

本セミナーは「萩市ひとづくり構想」を踏まえ、青少年が自ら思い描く未来の実現に向け、新しいことに挑戦できるきっかけとなることを願い開催するもので、本セミナーにつきましては、公益財団法人 上廣倫理財団のご協力をいただき開催しております。

石川さんからは永年日本のトップ選手として、世界を相手にご活躍してこられた経験を基に、緊張やプレッシャーを克服するために必要なことなど、体験談も交え色々なお話をしていただきました。

当日は、一般参加者の他、萩東中学校、三見中学校、川上中学校、旭中学校、萩光塩学院中学校・高等学校、萩高等学校、萩商工高等学校の生徒さん約800人が会場で聴講するとともに、オンライン上でも市内中学校・高等学校10校が聴講するなど、合計1,200人を超える参加がありました。質問の時間には、「好きなことと、やりたいことを両立させる方法がありますか？」や「オリンピックで勝利した後、世界観は変わりますか？」など多くの生徒さんから質問がありました。

一般参加者からも「世界で活躍されてきた方のお話なので全てにおいて説得力があり、とても良かった」などの感想があり、大人も子どもも夢をあきらめないことの大切さについて考えるひとときになりました。

【石川佳純さんのプロフィール】

1993年、山口県山口市のご出身で、ご両親の影響で7歳から卓球を始められました。

小学校をご卒業後、大阪のミキハウスへ卓球留学され、インターハイで3連覇、全日本ジュニアでは史上初の4連覇を達成されました。

17歳のとき全日本選手権女子シングルスで優勝され、3連覇を含む通算5度、日本一に輝いておられます。



2012年のロンドンオリンピックでは、団体戦で銀メダルを獲得され、男女を通じ、日本卓球史上初の五輪メダリストになられ、その後も16年リオオリンピックで銅メダル、21年の東京オリンピックで銀メダルを獲得されています。

卓球の世界選手権には2007年から14回出場されており、団体戦で合計8個のメダルを獲得されており、2017年デュッセルドルフ大会では、吉村真晴(よしむら まはる)選手とのペアで混合ダブルス金メダルを獲得されています。

2023年5月に現役引退を発表されています。

文化・生涯学習課 平田 敏郎

【コラム 三角州】

萩市のひきこもり支援 ～みんなで支えよう～

「ひきこもり」状態の人が全国で約146万人いると推計され、萩市でも約60人の方が、買い物以外に外出していないひきこもり状態にあることを関係機関が把握しています。

このような人たちに安心した日常生活を営んでもらうために、国では年代に関係なく切れ目のない支援を実施しています。

いじめで学校や職場に行けなくなった。自分に自信が持てない。人と会うのが怖い。精神的にやる気が起こらないなど、様々な原因で日常生活を営むことが難しい方々への支援です。

萩市は平成15年から、子ども・若者の居場所として「萩ユースふれあいスペース」を立ち上げ、ひきこんでいる子ども・若者やニートの居場所づくりなど、社会への参加・復帰を目指す後押しをしています。

また、平成23年度に「萩市子ども・若者総合サポート会議」を立ち上げ、令和2年からはすべての年代を対象に「ひきこもり電話相談」を開設しています。相談を受け、サポート会議を構成する38専門機関(市内の教育、保健福祉、医療、民間支援組織、司法・警察などの機関)が解決に向けて様々な支援をしています。

自分に自信を持ってもらい、困難のない日常生活を送ってもらうためにも、周りの人たちの支援が重要になってまいります。是非、ご本人の気持ちを理解しながら、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

社会教育指導員 溝部 吉継

【市役所ロビーコンサート(入場無料)】

開演 12:15 終演 12:45

○第28回:2月7日(水) 川島とし子(キングレコード)、真山昭二郎

【萩の歌シリーズ】萩の母、萩の雨、嗚呼、吉田松陰、萩の花燃ゆ ほか

○第29回 3月6日(水) 大塚茉莉子(ボーカル)、稲葉有希子(ピアノソロ)

【ボーカル、ピアノソロ演奏】(歌) 愛の讃歌、コンテパルティロ ほか

(ピアノソロ) ドビュッシー 月の光 ほか

敲氷求火

社会教育主事 中野 裕之

メジャーリーガーの大谷翔平選手が全国約2万の小学校に各校3個ずつのグローブを寄贈されました。昨年末から発送が始まり、届いた学校がニュースでも取り上げられる中、うちの息子は自分の学校に届かないことから「萩市は来ないのだろうか」と心配していました。年が明け、市内の学校にも届き始めたことから、息子も一安心した様子でした。野球をしたことがない息子にも興味をもたせた大谷グローブとそのニュース。「野球しようぜ」のメッセージとともに届けられたグローブは、全国の小学生に野球への興味の火をつけたと思います。

さて、この灯された火をどうするかは、受け止めた側とその周りの環境によるのではないのでしょうか。自身の火を大きくすることもできますし、さらに周りに火をひろげることができます。一方で、ほったらかしにすれば、自然消火ともなります。人口減少となっている中、スポーツ人口の少ない競技は存続が難しくなり、いかに多くの子どもに興味をもたせスポーツ人口を増やすかが課題となります。

地域についても同じだと感じています。人口減少が著しい中、いかに地元へ愛着をもたせ、高校や大学等を卒業後に地元に戻ってくる人材を増やすためにはどのような手立てをするのか。そのためには、「(地元で)〇〇しようぜ」と呼びかけ、ともに燃え上がる仲間を増やすか。地域連携を進める上で、ともに燃え上がりそうな方(所)を見つけ、少しずつその輪を広げていくことが必要と感じています。

みなさんだったら、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の2つが好循環となるように、どんな「〇〇しようぜ」というボールを投げますか？

【中央公民館 2月の教室・講座予定】

●中央公民館教室・講座

- (1)郷土料理教室 1日(木)9:30～
- (2)ヨガ教室(補習) 6日(火)10:30～
- (3)国際交流員 Hannahさんの国際料理教室
13日(火)13:30～(開催日変更)
- (4)楽しく作るパン教室(昼) 14日(水)13:30～
- (5)イタリア料理教室 19日(月)9:30～



●あおあお(高齢者)教室 (見学可)

- (1)墨友会(書道講座) 5日(月)9:30～
- (2)歌謡倶楽部講座 10日(土)13:30～ / 24日(土)13:30～
- (3)初心者からのいけ花倶楽部講座(後期) 18日(日)10:00～
- (4)絵てがみ倶楽部講座 20日(火)13:30～

